

意見陳述をしてくださるひとびと

みやもとりゅうもん

宮本龍門氏 **宗教者**

岡山市南方所在真言宗御室派長泉寺第27世住職をされています。

仏教の本来の教えに従うと原子核を利用したエネルギー政策や武力による国際紛争の解決・戦争は許されないとの信念のもとに原発反対運動、戦争に反対する運動に取り組んでおられます。また、安全保障関連法案採決の国会における一連の過程は国民主権・立憲主義の原則を脅かし、国民の未来を再び危険な戦争への途へと導くものであるとの危機感をいだかれて、「おかやまいつぽん」の世話役として目覚ましくかつ献身的に活動をされています。今、岡山で最も忙しい一人だろうと思います。

うみやまひろとし

海山浩俊氏 **身体障がい者**

視覚障がいがあり、全く視力を失っておられます。「視覚障がい者友の会」を結成され、その元会長として市町村の「街づくり」において障がい者の社会生活上の利便の向上や福祉の充実に努力をされて来られました。今回の安倍政権の消費増税延期措置に見られるように国家財政が不足した時に一番に削られるのは福祉関係費です。軍備の強化と福祉は両立しません。戦争は最大の人権侵害といい、戦争で先ず犠牲となるのはいつも社会的弱者であると言われます。障がい者は戦争推進政策の第一の被害者になる恐れがあります。その切実な訴えを聴きましょう。

ないとうひでゆき

内藤秀之氏 **日本原陸上自衛隊基地反対農民**

県北勝田郡奈義町に陸上自衛隊日本原駐屯地・日本原演習場があります。那岐山麓に広がる肥沃な丘陵地です。陸上自衛隊が常駐して日夜訓練をしています。また、日米安全保障条約によるとこの演習場も米軍が望めばいつでも利用をすることができます。この演習場内に小作権を有して、これを梃子にして反戦運動・反基地運動を長年続けている農民がいます。自衛隊は演習場内の完全支配を目指してあらゆる仕事を仕掛けています。近代的な兵器で武装強化を図る自衛隊と年来の小作権・入会権との対立と拮抗は、那岐山を背景とした一服の絵ではないでしょうか。

かどちずこ

加百智津子氏 広島被爆2世

広島あのピカドンの爆心地から約1キロメートルしか離れていないところで被爆した母から生まれておられます。いわゆる被爆2世です。母から聞かされた原爆による肉体的・精神的被害や苦悩はどのような言葉で表現しても、その言葉に余ります。そのうえ、自らも被曝による健康被害・不安に悩まされて今日に至っておられます。原水爆禁止・核の脅威を全世界から取り除くことを使命として岡山のみならず国際的にも活動をされて来られました。

※ 「被爆」=爆発に巻き込まれるという意味。 「被曝」=放射能にさらされるという意味。

みやもと あつし

宮本 敦氏 岡山空襲体験者

今月の29日は岡山市が米空軍による空襲を受けた日です。29日未明138機の爆撃機が岡山市を襲い、890トンの大量の焼夷弾を投下しました。岡山市内は大半が焼け野原となり、1737名の方が尊い犠牲となりました。その空襲による炎熱の中を家族ともども逃げ惑った経験をされました。そのことを心に刻み込んで良心と憲法に忠実な裁判官となり、裁判官の自由な発言を確保するための活動に取り組んでこられました。現在はこの違憲訴訟の原告であると同時に弁護士として原告代理人もされています。

おおさかけいこ

大坂圭子氏 安保関連法に反対するママとみんなの会

男のお子さんを育児されているお母さんです。「だれの子もころさせない」を共同のスローガンとして、昨年の安保関連法案国会審議の過程で全国的に結成されたママさんたちのグループの世話役をされています。お母さんも子どもたちも戦争によってその人生を奪われます。家の中から街の中まで、そして未来の社会のためにもママさんの果たす役割はいつの世でも貴重であり、また、説得力があります。

よしおかこうすけ

吉岡康祐氏 法律専門家（弁護士）

ほとぼしる熱血とこよなく日本国憲法を愛する情熱とで昨年度の岡山弁護士会をリードしてきました。前岡山弁護士会会長です。自らも憲法原理主義者と述べていますように日本国憲法が誕生した時に刻印された世界大戦後の地球規模での反省と理想、そして人類の高邁な理念や希望を現代社会にも生かしていきたいという信念に燃えています。